

常任委員会レポート

令和4年度一般・特別・企業会計補正予算をはじめ、条例の制定・一部改正などの議案を、各常任委員会で審査しました。ここでは、その一部を紹介します。

総務委員会

令和4年度袋井市一般会計補正予算(第6号) ～歳入～

Q 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について、10月の総務委員会では、市の単独費での支援も検討すべきではないか。というような意見があったが、予算編成の段階において、どのように対応されたのか。

A コロナ対策に係る生活者支援や事業者支援の実施に当たっては、国費の有無に関わらず市の単独費の投入を含め、必要な支援をしていくことの基本的な考え方に変更はない。現在、来年度の当初予算編成のほか、2月補正予算での対応を含め、必要な追加措置を検討している。

令和4年度袋井市一般会計補正予算(第7号) ～交通防犯対策費～

Q 今回の地域公共交通車両維持支援事業費補助対象事業者に関して、自動車運転代行業者は含まれていないということであったが、対象外となった経緯と理由は何か。

A 自動車運転代行業者を対象外とした理由については、県の補助事例などもあり、市民の日常生活の移動手段として重要な公共交通の運行を維持するため、国の臨時交付金の活用事例などを参考にしながら、市内の公共交通事業者という位置づけの中で、バスとタクシーとした。

民生文教委員会

令和4年度袋井市一般会計補正予算(第6号) ～文教施設災害復旧費～

Q 台風15号により、愛野公園や原野谷川親水公園以外に、広岡河川公園にも河川の増水による流木や汚泥の流入があった。広岡河川公園ソフトボール場の災害復旧は今回の補正予算に計上されていないが、いつ災害復旧を行うのか。また、今回、補正予算を計上しない場合、春からの利用に影響が出るが、利用者団体に説明をして了解を得ているのか。

A 国、県の災害復旧補助金を申請しており、速やかに原状復旧ができるように協議している。可能な限り早い段階で、少なくとも来年度実施ということで国の基準に従って実施していく。また、利用者団体にはすぐに説明し、試合や練習での利用も隣接する施設を活用いただくよう話をしている。

令和4年度袋井市国民健康保険特別会計 補正予算(第2号)

Q マイナンバーカードの健康保険証などへの導入がなされているが、なかなか利用が進まない状況にある。今後、活用に向けてどのように対応していくか。

A 国は、令和6年の秋に健康保険証廃止を目指し、マイナンバーカードへ一体化する方針を表明しているが、市内の医療機関・薬局では、8月時点で99カ所のうち、45カ所で読み取り用カードリーダーを導入している。また、市から各種通知を送付する際にも、マイナンバーカードの健康保険証利用促進のPRを行っている。今後も、市民にわかりやすく周知していきたい。

建設経済委員会

令和4年度袋井市一般会計補正予算(第6号) ～農林施設災害復旧費～

Q 台風15号による大谷地区、見取地区の復旧工事のスケジュールはどうか。また、果樹園と茶園の農地としての再生は、従来と同じ作物を栽培するのか。

A 12月中旬に国の災害査定が行われ、現時点では、1月中に設計、早ければ2月中に入札を終え、直ちに工事に入る予定である。農地の再生については、果樹園だった場所は引き続き果樹園を、茶園だった場所は果樹園にすることも含めて考えたいとの意向を生産者から伺っている。

令和4年度袋井市下水道事業会計補正予算 (第1号)

Q 電気料金の高騰による光熱水費の増額が補正の要因のひとつのこと。電気料金の高騰は、すぐには改善されないと思うがどう考えているのか。

A 電力会社を比較検討することで、電気料金を下げられないか検討してきた。しかし、電力の自由化で新たに参入した電力会社などが事業撤退を迫られているとの報道も見られることなどから、今後は、長期的な契約によって単価を下げる方法など、大手電力会社からできる限り安価に受電する方法を検討していきたい。